

次世代育成

事業名称：受け継がれる秋田杉と技能（地域循環型）inかづの元気フェスタ



自分のお気に入りのフォトフレームとコースターにリフォームしてみよう！

きっかけ
 高齢化社会のなか、若い世代の人材確保・育成には、小さいときの体験が重要なと考え、記憶に残る体験をするための場所を提供しました。今年で十一年目になります。

◆完成品の一部を見せてもらいました。しっかり時間をかけて作った自信作です。



◆当日そろえたタイルたち。シートの状態を外してバラバラにする作業が一番大変です。

成果と課題

木工教室として準備した場合、のこぎり、金づち、釘など、大人が必ず参加しなければ完成できなかった内容を子ども一人で完成できるように刷新したことで、参加した子どもたちも達成感のある教室となりました。

昨年からの実施で2回目ですが、好きな色のタイルをたくさん持って行って単純に貼り付ける子どもも見受けられたため、作業前に色と形と貼り付け方をデザインする工程を加えると、より充実した体験になると感じました。

開催状況

6名の子供大工さんが演じる模擬上棟式のコーナー、カラフルなモザイクタイルを既製のフォトフレームと杉板のコースターに張り付けてリフォームを体験していただく木工教室を準備しました。当日は、かづの元気フェスタというイベントが開催されており、毎年大勢の来場者に囲まれる模擬上棟式など、会場内でも注目されるコーナーとなっています。



◆模擬上棟式のメインとなるもちまき。子ども大工さんも、ヘルメットと安全帯をつけて屋根上でお手伝いします。

事業情報											
主催団体	<input type="checkbox"/>	(一社) 秋田県建築士会鹿角支部			<input type="checkbox"/>	他団体 (建設技能組合)		助成	無		
活動収支	収入	139千円			支出	139千円		協賛	23	社	
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
		10	10	20					116	116	136
連携・協力組織	かづの元気フェスタ実行委員会、鹿角市、鹿角市社会福祉協議会										
アクションプラン	建築士の社会的評価 「子どもたちに建築と建築士を知ってもらおう」							達成度	50	%	

教育・人づくり

事業名称：お箸づくり体験



きっかけ
地域に密着した建築資材である「秋田スギ」に触れてもらい、木のぬくもりを通して地域に目を向けてもらうと始めたく「箸づくり」今年も住宅建築を主とする業者さんの集まりに間借りする形でイベント。「水まわり工房」に行いました。

ものづくりを体験しながら郷土愛もはぐくむ「お箸づくり」（今年は2回！）

夏のイベントの様子。若手の会員も、みるみる指導の腕が上がっていきました。



色塗り・スタンプの時はみんな夢中です。できそうな子には、最後に箸袋も折り紙で作ってもらいます。

成果と課題

このイベントも回数を重ねるにつれ、こどもの年齢に合わせて指導方法を変えたり、ご両親もうまく作業に引き込むよう誘導したりと、会員のレベルもアップしてきました。これからも秋田スギの良さを伝えていきたいですが、「建築士会」の存在を感じてもらっているのがちょっと不安です。より建築の要素を感じられるような企画で、建築士の特徴をもっと出せるようにしたいです。来年は大館市で行われる産業祭に出店することも視野にいれていこうと考えています。

開催状況

今年は回数を増やしてみよう！ということで、夏（7/20）冬（1/25,26）の延べ3日にわたり箸づくりイベントを行いました。夏は15組、冬は27組の参加がありました。荒削りに作った箸をサンドペーパーで整え、最後に好きなペイントやスタンプでオリジナルなデザインに仕上げてもらおうという作業ですが、色塗りはみんな個性が出て、毎回思いがけない塗り方をして驚かせてくれます。色付けは一度失敗しても、また表面を研磨してリセットできるので好評でした。



大人用の箸の在庫が尽きてしまいましたが、お子さんの作業を親が見守り手伝うという、これもまたいい流れになりました。

事業情報

主催団体	<input type="checkbox"/> 建築士会	<input type="checkbox"/> 他団体（ ）	助成	無							
活動収支	収入 4200	支出 0	協賛	社							
来場者	運営側	建築士会 8	他団体 1	計 9	参加者	会員 3	建築士 20	一般 35	子ども 58	計 67	合計
	連携・協力組織	会場提供：「水まわり工房」に参加されている建設業者・資材会社・メーカー									
アクションプラン	建築士の社会的評価 「子どもたちに建築と建築士を知ってもらおう」							達成度	達成度	70%	

建築士（会）の周知

事業名称：『旧料亭 金勇』ボランティア清掃活動2019



当日の参加者集合写真

我らで守ろう能代の有形文化財！

きつかけ
 国登録有形文化財『旧料亭 金勇』の維持管理に
 貢献してまいります。



掃除機で高所のゴミを吸い取る作業

開催状況

今回は過去最多9名での清掃活動になりました。今年もみんなでオリジナルジャンパーを着用し汗をかきながら一生懸命清掃しました。また、普段なかなかする事が無い脚立を使った高所の清掃は凄く喜んでもらっております。



脚立を使用し高所の拭き掃除

成果と課題

歴史的建造物であり能代に無くてはならない金勇、このような建造物を維持保存していく為にもこのボランティア清掃活動を継続し、更には建築士会の周知にも繋げて行きたいと思っております。今後も高い場所や普段の清掃がなかなか難しいところを重点に清掃し喜んでもらえるように頑張ります。

事業情報

主催団体	<input type="checkbox"/> 能代山本建築士会	<input type="checkbox"/> 他団体（ ）	助成	無	
活動収支	収入 無	支出 無	協賛	0 社	
来場者	運営側 建築士会 10	他団体 計 10	参加者 会員 建築士 一般 子ども	計 0 合計 10	
連携・協力組織					
アクションプラン	建築士の資質・人間的成長 「若手建築士による建築士活動の発信を促し、未来をつくる」			達成度	80 %

次世代育成

事業名称：工業系高等学校設計コンクール 運営サポート



設計コンクール表彰式後の記念撮影

建築設計コンクールを通じて建築士会の活動をPRする

きっかけ
日本建築学会東北支部秋田支所は、毎年工業系高等学校の生徒を対象とした設計コンクールを開催している。建築士会青年部会でも審査員を派遣しているため、建築士会をPRする。

開催状況

日本建築学会東北支部秋田支所の主催で、秋田県内の工業系高等学校の3年生を対象に、毎年2月に設計コンクールを開催している。

審査会：平成31年2月7日（木）

表彰式：平成31年2月9日（土）

参加学校数：7校

建築士会青年部会では、審査会時の作品展示、会議の記録等運営面でのサポートを行った。



審査委員会の様子（写真右奥が事務局）

成果と課題

他団体が主催しているコンクールではあるが、48回続いている歴史的なコンクールであることから、工業系高等学校生徒の注目度は高く、建築士会のPRに一定の貢献ができていたと思う。今後は、建築士会の活動をより周知できるよう活動資料の展示等に工夫を行いたい。



作品の審査状況（写真中央女性が建築士会の審査員）

事業情報									
主催団体	<input type="checkbox"/> 建築士会	<input checked="" type="checkbox"/> 他団体（日本建築学会）	助成	無					
活動収支	収入 建築士会：なし	支出 建築士会：20,000円（協賛金）	協賛	社					
来場者	運営側	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計	
	5	15	20	5	10	30	35	80	100
連携・協力組織	日本建築学会東北支部秋田支所								
アクションプラン	建築士の社会的評価 「こどもたちに建築と建築士を知ってもらおう」						達成度	70	%

地域活性化

事業名称：由利本荘市市民祭り協賛事業「木工教室」



文化交流館カダレの一角をお借りし木工教室スタート！

みんな集まれ！木工教室

きっかけ
建築士の持つ持っている職能を生かし、建築に身近な木を使用し、ものづくり体験を通して建築への興味を引き出します。また、活動を通して、建築士会や建築士を一般市民の皆様に広く周知します。

開催状況

支部メンバーで事前に組み立てやすいように作成した椅子キットを使います。

木製椅子の材料を来場者に組み立てて頂き、材料代として一脚300円をいただきます。普段あまり触れることのない、金づちやインパクトドライバーを実際に使用し組み立てていきます。かなづちの大きな音に釣られ多くの来場者が足を止めて行かれました。お年寄りから子供まで出来る作業となり、多くの来場者に喜ばれていました。



初めての金づち！最初はおっかなびっくりでしたが、次第に良い音を出すようになります

成果と課題

9時から開始し13時には用意した椅子50組が売り切れとなり、大好評となりました。参加者はあちこちで金づちの音を出しながら楽しんで取り組んでいました。一昨年から材料代として300円をいただきましたが、大きな混乱もなく、例年のあまりにも混みすぎというのが解消され、運営側としては大変良かったところです。今年も来たよ！という人や、昨年とは別の兄弟がやってきたり毎回講評をいただき、楽しみにしている人も多いようです。



自分で作成した椅子でニコッ！

事業情報

主催団体	<input type="checkbox"/> 建築士会	<input type="checkbox"/> 他団体 ()	助成	無
活動収支	収入 本会計60,000円+参加費人/300円	支出 48,132円	協賛	社
来場者	運営側 建築士会 13 他団体 0 計 13	参加者 会員 0 建築士 0 一般 60 子ども 40 計 100 合計 113		
連携・協力組織	由利本荘市			
アクションプラン	建築士の社会的評価 「こどもたちに建築と建築士を知ってもらおう」		達成度	70 %

地域活性化

事業名称：木工体験IN秋の稔りフェア



写真の説明をしてください

スマホを差し込むだけのウッドスピーカー製作体験

第15回を数える大仙市秋の稔りフェアにて、毎年建築の職能を楽しく体験してもらおうために、建築士会では木工体験を企画し、運営していました。普段触れない工具や塗料などに悪戦苦闘しながらスピーカーや組子細工を制作しました。

開催状況



まずは安全に作業を完遂するを第一として、材料がずれない専用の組立器具を制作し会員に周知し当日を迎えました。建築士会の木工体験を楽しみにして来てくれるご家族様も多く自分の部屋に並べて飾ってくれている事を耳にすると、この活動が地域に少しずつ根付いて来ている事を実感しました。完成したスピーカーで音楽を楽しんだり、おばあちゃんにも作ってあげたいなど複数作って行くご家族様も！木に触れる物造りのすばらしさを真剣に取組む子供さんの表情から教えてもらった2日間でした。

スピーカーは面材が合板の物や銘木の突板の物、完全に無垢材の物と3パターンを用意しましたが樺の無垢材仕様が1番人気でした。

成果と課題

活動成果・今後の課題と計画について書いてください



完成後は自由にデコレーションをしてもらいました。作品にはそれぞれの個性が光ります！

事業情報

主催団体	<input type="checkbox"/> 公益財団法人秋田県建築士会仙北支部	<input type="checkbox"/> 他団体 (大仙市秋の稔りフェア推進協議会事務局)	助成	無				
活動収支	収入	支出	2000円	協賛 0 社				
来場者	運営側	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
				10	25	19	44	54
連携・協力組織								
アクションプラン	建築士の社会的評価 「こどもたちに建築と建築士を知ってもらおう」			達成度	80 %			

教育・人づくり

事業名称：令和元年度「つくってあそぼう」
折り紙建築と網代あみ体験 他



▼右側は折り紙建築、左側は網代あみ体験。手前では子供たちは自分なりのアレンジを加えて仕上げています。

「つくってあそぼう」
自分で考えて、
つくる楽しみ

きっかけ
横手市内の子供たちを対象に長年続いている「つくってあそぼう」。今年も継続して参加している。建物を立体として捉えたり、伝統的なデザインがどのように作られていてあるかなど、工作から建築を感じてほしいと思っ

開催状況

網代あみは低学年から、折り紙建築は高学年を対象として、30分程度で完成できるようにしています。網代あみは杉材を薄くスライスしたものを使用し、組み合わせた後の小口をデコレーションテープで固定することで、安全に配慮しています。折り紙建築はカッターを使用することもあって難易度は高く、網代あみを選ぶ参加者が多いようでした。親子で一緒につくる参加者もあり、組み方は大人が上手ですが、仕上げは子供のセンスが勝っていました。



◆「どうやって組み立てるんだろう？」頭と手先はフル回転。アドバイスを受けながら、慣れてきたころには完成です。



◆仕上げを加えて、世界に一つだけの作品ができました。上手にできました！

成果と課題

毎年同じ内容ではありますが、網代あみに関しては小さい子どもでも完成できる良い題材だと思います。今後もこれを中心としながら、違った組み方や仕上げができるようなバリエーションを増やせればと思います。折り紙建築に関しては細かい作業があったり、題材が難しい中でも、完成した時の満足度は高いと感じました。題材も横手ならではの建築物や工作物などがあれば、地域の建築物を知るきっかけになるかもしれません。今後の活動においても、地域の建築の良さをアピールし、子供たちに建築と建築士を知ってもらいたいと思います。

事業情報										
主催団体	<input type="checkbox"/>	(一社)秋田県建築士会横手支部			<input type="checkbox"/>	他団体 (横手市子ども会育成連合会)			助成	無
活動収支	収入	20000円			支出	20000円			協賛	0 社
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計 合計
		12	0	12		0	0	15	36	51 63
連携・協力組織	横手市造形教育委員会、森の王国サルバ、横手市建設技能協同組合、横手ジュニアリーダーの会									
アクションプラン	建築士の社会的評価 「子どもたちに建築と建築士を知ってもらおう」							達成度	達成度	80%

景観形成

事業名称：サンロード計画



模型作成

きつかけ
平成25年の湯沢雄勝支部青年大会でのワークショップがきっかけとなり始めました。今年5年目となります。アーケードの模様替えを通して、湯沢サンロード商店街の新たな姿を模索しています。

継続は力なり 事業5年目



模型作成

開催状況

活動日時：10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/3, 12/10, 12/17
いずれも18：00～20：00

「気持ちの良い通り」をテーマにスケッチをもとに模型の作成を行いました。建築をするうえでの基本的な流れに沿ってすこしづつ提案に向けて進めました。



模型作成

成果と課題

成果品をつくり商店街へプレゼンすることを目標に、時間を掛けて話し合う活動を今年も続けることができました。前回までと同様、隔週火曜18時を活動日と設定し、時間は2時間、今年7回活動を行いました。前年度までに話し合った方針にそって模型の作成を行いました。来年度に提案をし、この活動に節目を迎える予定です。

事業情報											
主催団体	<input checked="" type="checkbox"/>	建築士会			<input type="checkbox"/>	他団体 ()			助成	無	
活動収支	収入				支出				協賛	社	
来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計	合計
		7		7						0	7
連携・協力組織											
アクションプラン	建築士の資質・人間的成長 「若手建築士による建築士活動の発信を促し、未来をつくる」							達成度	達成度 %		